

学年部会	テーマ「情報活用の実践力【あらかわす】部会・6年」	
実践内容	「情報による文字の大きさや配列を考えるための取り組み」	
教科・単元名	6年 書写 「読みやすい紙面構成を考えよう」	

1. 実践活動のねらい

書きたい、伝えたいという意欲がある子が多く、どんな相手へ伝えるかという他者意識も育っている。その一方で表し方のスキルが育っていない(パターンがない、太さや筆記具の違いによる特徴を知らない)ことや、語彙、文字の丁寧さにかけることが課題としてあり、ポスターや新聞を書いても途中で挫折してしまう子が多い。

本年度は書写の担当(5、6年)となったが、指導計画の中に「配列」という項目があり、これを利用して子どもたちに課題を克服するきっかけがつかめないかと考えた。

2. 実践の内容・経過

子どもたちの意欲やスキルなどを考慮して、

- (1) コンピュータで鎌倉パンフレットの表紙を作る
- (2) 相手に伝わりやすい【あらかわす】方を考える
- (3) 作品を作ることで【あらかわす】よさや楽しさを味わう

以上のことを意識して、学習活動を組んでみた。



■具体的な手立て

- (1) コンピュータで鎌倉パンフレットの表紙を作るために

●見本を示す

文字の大きさや太さ、字体によってどのような印象を与えるか、いくつか例を示して伝えた。コンピュータで作ることが目的ではなく、相手に意識した表紙を作ることに意識が向いた。また、スカイメニューで教員のデータを配布したり、文字の加工について教員の画面を見せたりすることで、子どもたちが安心してコンピュータを使う活動に取り組めた。



●コンピュータで表紙を作る

コンピュータを扱うスキル(文字を打つ、大きさや字体を変える)はそれほど高くないので、表紙のみを作ることにした。ただ、技術が高い子には表紙に使う写真の加工や、文字の色を変えることも許可した。

- (2) 相手に伝わりやすい【あらかわす】方考えるために

●誰に伝えるのかを考える

伝える相手により、使う言葉や配慮(文字の大きさやふりがな)が変わってくることを伝えた。今回は「家族に楽しさが伝わる表紙」を意識して作ることにした。活動の中で「サブタイトルをつけていいか」という質問があったので、許可することにした。【あらかわす】幅を広げようと、子どもたちから意見が出てきたのがよかった。

●言葉が持つ意味を考える

今回は表紙のみを作るので、タイトル(サブタイトル)でしかメッセージは伝えられない。そこで、ニュースの見出しや本のタイトルなどを例に出し、表紙が内容に与える印象が強いことに気づかせた。そのため、子どもたちは文字の加工だけでなく、どのような言葉を使うかを大切にして活動に取り組んでくれた。また、使う写真にもこだわりもっている子がいた。

(3) 作品を作ることで【あらわす】よさや楽しさを味わうために

●作品作りの幅を広げる

コンピュータで作ることのよさ(きれいに仕上がる、やり直しがしやすい)と、文字の大きさや配列による印象が変わることを意識して伝えた。子どもたちにはまだ慣れないツールであるが、これかほかの作品を作るときに役立つということは意識して取り組んでいた。

●心をこめて作品を作る

今回はコンピュータで表紙を作ったが、中身は手書きで作った。それぞれの作り方がもつよさに気づいて、意欲をもって作品を作れた子が多かった。

3. 考察・成果や課題

この学習を通して、【あらわす】方法が多様にあること、相手を考えて作品を作ることに気づいた子が多くいた。「パソコンが楽しかった」という従来あった感想ではなく、「よいパンフレットができてよかった」という子が多くいたことも、学習のめあてを達成するためにコンピュータを活用できたのではないかと思う。

また、この学習の後、各クラスでパンフレット作りを続けた際、はじめ子どもたちは「全部パソコンで作りたい」と言っていたが、活動を進めるうちに「手書きもいいかも」という反応が出てきたらしい。「どうしてそうなったの」と担任が聞いたところ、ある子が「相手のことを考えたり、見やすい方法を考えたりして作ってるから、パソコンでも手書きでもいいんじゃない」と話してくれたそうだ。どのような形で【あらわす】にも、心をこめて作ることが大切であるということに気づいた子がいたのは、とてもうれしいことであった。

今後はまず、コンピュータを扱うスキルを高めていきたい。今回の学習で子どもたちはコンピュータを使って【あらわす】よさを感じ取ることができた。ただ、タイピングをはじめコンピュータを使いこなすには至っていない。操作が難しいため、使わない子も出てくる可能性もある。担任と相談してコンピュータに触れる機会を増やしてもらい、身近に感じてほしいと思う。

また、普段の学習、生活にこの【あらわす】学習を活かしてほしいと思う。たとえば委員会のポスターや新聞は、まだ相手(1年生まで見るもの)ということ意識していなかったり、文字の大きさや構成も拙かったりするものが多い。学習したことがつながるよう、声かけを続けていきたい。



